



## 「あわれみ深い神」

申命記4・29-35 (要旨) 説教者 原田憲夫

先週から旧約聖書「申命記」を読みはじめました。「近くにおられる神」とともに、「今-現在」から「過去」としっかり向き合い、「未来」をしっかり見据えるということでした。本日は「鍵の語キーワード」である「あわれみ」に注目してみことばに耳を傾けましょう。

## 序

生きることは年齢-年輪を重ねることです。けれどもそれは容易なことではありません。その途中で様々な出来事-失敗、過ちがあり、幾度ももうダメだと思ふこともあります。今日の箇所は、そんな私たちに対し「過去」から語られています。

申命記-聖書は、イスラエルの民-少数の人々をモデル(雛形)に、全世界のすべての人々が「神とともに歩む祝福の道」を示します(25-31)。ただ、この神は<唯一>であり、本質上、<形あるもの>に置き換える事が不可能なお方です。

では、「形が見えない神」をどのように信じたら良いのでしょうか。耳を傾けてください。

▷4・29 しかしそこから、あなたがたがあなたの神、【主】を探し求め、心を尽くし、いのちを尽くして求めるとき、あなたは主にお会いする。

## 【1】 聖にして、あわれみ深い神！

## ●聖い神：

「あなたの神、【主】は焼き尽くす火、ねたみの神である」(24)・・・

不思議な表現ですが、これはいわゆる嫉妬心というのではなく、他のどんなものも近づけない、「神の圧倒的な聖さ」を表す言葉です。神との契約、約束を破る者を、神は放置せずしっかり取り扱われます。

それならば、神に対し罪や過ちばかりのイスラエルの民が滅び失せないはずがありません。

## ●あわれみ深い神：

▷4・31 あなたの神、【主】は、あわれみ深い神であり、あなたを捨てず、あなたを滅ぼさず、あなたの父祖たちに誓った契約を忘れないからである。

聖い神があわせもつ特質が「深いあわれみの心」です。神の圧倒的な聖さとともに、主に立ち返る者に現わされる神の「あわれみ深さ」です。

モーセは「約束の地」を目の前にして、民が歩んで来た過去にしっかり向き合うように促します。失敗だらけの、罪を、過ちを繰り返す民に、神の「聖さ」と神の「あわれみ深さ」を語るのです。

これは聖書の中で一貫して語られる大事なテーマ

です。→ネヘミヤ 9・17-19(27,28,31), 詩篇 103・8(116・5,145・8)etc.

## ▷哀歌3・22b-24 (今週の聖句)

「実に、私たちは滅び失せなかった。主のあわれみが尽きないからだ。それは朝ごとに新しい。『あなたの真実は大偉です。主こそ、私への割り当てです』と私のたましいは言う。それゆえ、私は主を待ち望む。」

## 【2】 神のあわれみの先例 (見本) として！

神の聖さと神のあわれみ深さは今日まで全世界の、すべての人々に語り継がれています！

私たちには弱さがあります。不安がつきまといまふ。しかし忘れないでください！

(35) あなたにこのことが示されたのは、【主】だけが神であり、ほかに神はいないことを、あなたが知るためであった。

そうです。今日、私たちが忘れてはならないことは、どんな状況の中でも、私たちに告げられた神とその教えに従い(39,40)、一人ひとりに託された使命を自覚し、ふさわしく歩むことなのです！

## ▷1テモテ1・13-16

(16) しかし、私はあわれみを受けました。それは、キリスト・イエスがこの上ない寛容をまず私に示し、私を、ご自分を信じて永遠のいのちを得ることになる人々の先例 (見本) にするためでした。

## 【結び】

厳しい寒さの北海道の木は総じて固いですが、「エンジュ」という木-木の年輪の幅が極端に狭く固い木です。木彫りやカップなどに使われ、磨くと光ります。

私たちは今日、荒野や寒冷地にも似た厳しい環境の中にありますが、今日までただ神の深いあわれみの心の中に生かされています。

私たちは-あなたは、この神の深いあわれみの心の中に生かされている「先例-見本」なのです！

▷詩篇103篇1~5節を心に刻み、感謝しつつ歩みましょう！

(祈り)

(賛美) 教会福音讃美歌 138 番